



し濃尾平野の沃野を形成している。

- 津島地域の地質は 養老山地を構成する古生代（二疊紀）の養老層群と同山地山麓に分布する鮮新世—更新世の奄芸層群および段丘堆積物からなり 養老山地東麓には扇状地堆積物が著しく発達している。
- 従来養老山地の古生層は養老層群として一括されていたが 岩相により3つに区分したことで 養老層群の断層による複雑なブロック運動が解明され さらに 周辺地域の古生層と岩相による対比を可能にした。
- 奄芸層群は5累層に区分しているが 凡例では便宜上3つにして表現している。
- 地下地質は 深度1,000 m以上の8地点の超深層ボーリング資料を駆使して 濃尾平野地下の堆積層について 上部から下部へ完新統 更新統 鮮新統 中新統の順に 1,500 mに及ぶ厚い堆積層の存在を明らかにし 層序の確立と周辺地域との対比を行い 沖積基底等深線を書き入れ 沖積基底面の構造が読めるようにしたことは 本図幅の特徴として挙げられる。 さらに 研究報告書には 更新統基底面及び鮮新統基底面の構造を示し 濃尾平野の地下地質構造を示した。
- 沖積平野部については 自然堤防を区別して表現し 3大河川による氾濫原の状態を浮き彫りにしたのも本図幅の特徴といえよう。
- 津島地域は 大部分濃尾平野が占めることから 農業 産業 住居など社会生活にかかわるものが大きい。 とくに 直接社会生活にかかわる地下地質 地下水についてその大要を把握する上で この研究報告書は十分に役立つであろう。 なお 「津島」図幅は西隣りの彦根東部地域と関連しており 「彦根東部」図幅を併用すると良いと思う。

5 万分の 1 地質図幅の新刊

# 津 島

## TSUSHIMA

5 万分の 1 地質図幅  
地域地質研究報告

著 者 高田康秀・近藤善教（名古屋出張所）  
宮村 学（大阪出張所）

発 行 工業技術院 地 質 調 査 所

取扱先 東京地学協会(03) 261-0809・262-1401  
地学文献センター(0423) 62-5050  
その他 各地の書店でも購入できます

- 「津島」図幅は 養老山地の大部分と濃美平野の西部域をカバーしており 大部分濃尾平野で占められる。 養老山地北部東斜面には 伝説で有名な養老の滝が砂岩層とチャート層を境する断層にかかるのをはじめ 大小の滝がかかっている。 一方 濃尾平野には 木曾川・長良川・揖斐川の3大河川が併流して 古来から洪水 氾濫をくりかえ

地質ニュース	第313号	9月号
昭和55年9月1日	定価 ¥ 500	千 実 費
編 集	発 行	
発行人	工業技術院 地質調査所	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	